

議会 活動報告

①機序
 昨年1月、町は、総合的な判断のもと、中山間地域等直接支払制度及び多面的機能支払交付金事業を併用している5つの活動組織に対して選択制を提案した。それに対し各方面から疑問の声が上がった。



政策提言を
町長に提出

中山間地域を守りたい

②議会の対応
 町が選択制にした理由や経過、国・県の方針・地元町民の声を、産業建設常任委員会を中心に検討し、政策会議において提言書をまとめ、議会全員協議会にて町に改善を求めることを決定した。

提言書
 町の基幹産業である農業後継者の減少や高齢化が課題であり、特に中山間地域においては一層深刻な状況にあります。中山間地域は傾斜地が多く自然災害が発生しやすいことや、畦畔が大きく、草刈などの維持が困難であるなど、生産活動は大変であります。加えてクマやイノシシ・シカなどの獣害の拡大は、生産意欲を減退させ、地域コミュニティの維持を妨げる大きな問題となり、その最前線が中山間地域であります。
 国が目指す目的に向かって町と国が連携して次世代に引き継ぐこと、地域資源（農地・ため池・農道・水路等）の維持向上を図る活動を支援し、さらには獣害から町民を守るためにも当該両制度の選択制は撤回し、両制度の併用継続を強く求めます。

中山間地域等直接支払制度及び多面的機能支払交付金事業の選択制を撤回し、両制度の併用継続を求める



管理が大変な中山間地

研修 分かりやすく伝えるために
広報編集の技術を学ぶ

議会報編集委員会 研修実施

9月24・25日に議会だよりの更なる充実を目指して、全国町村議会研修会及び埼玉県北本市議会を視察しました。
 研修内容として、広報紙の文章や広報紙の企画・編集、WEB・SNSの活用方法、議会だよりのレイアウト等について専門家の編集方法を学び、広報広聴委員会としての活動の取り組みを聞きました。今後の議会報の編集に活かして参ります。

報告 当町議会の取り組みを視察
受入し、相互に刺激を受ける

視察受入（宮城県色麻町議会）

11月11日に宮城県色麻町議会の議会運営委員会が行政視察に来庁し、お互いの取り組み状況について意見交換しました。

<視察内容>

- ①議会を代表しての質問
- ②ばんげ未来トークの取り組み

新年のあいさつ



古川庄平議長

町民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、日頃から町議会に對しましてご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「みんながつながる」を基本理念とした、今後10年間の町の方針である「第六次会津坂下町振興計画」に基づき、財政健全化に向け、今年は初年度の重要な年となります。議会では、議会改革の新たな挑戦として、県内町村初の試みとなる、全国的にも珍しい「代表質問」を実施しました。一般的に会派がある議会において行われますが、会派のない議会の実施であるため、「議会を代表しての質問」という形式で行います。

この取り組みは、町の重要な課題を議員全員で検討し、議会内の議論を活発化させ、町政の課題を共有しつつ、より町民に信頼される議会に近づいていくことを目的としており、昨年は、3月と9月に、「町財政の健全化と庁舎建設」、「外国人労働者」、「公共交通の在り方」という観点から、町の代表である町長と議会の代表者が町の課題を協議する

良い機会を設けることができました。さらに、「開かれた議会、活力のある議会」構築のため、平成29年より各種団体より要請を受け、議員が直接訪問する「ばんげ未来トーク（町民懇談会）」を行い、これまで約300人の声を伺ってまいりました。今後も多くの町民皆様の貴重なご意見を拝聴する機会を設け、その声を町政に反映してまいりたいと考えております。

私ども、議員一人ひとりが、自らの責務を自覚し、議会基本条例に基づき、議員一丸となり「チーム議会」の確立を目指してまいります。結びに、町民の皆様にとりまして素晴らしい年になりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

各議員の当初の質問に対する町担当者の答弁は、具体的な町の考え方、実際に物事がどの程度進んでいるのか、事務的で抽象的な答弁が多く、もう少し分かりやすい言葉ではっきり答えて欲しいと思つたのは私だけでしょうか。再質問の議員との一問一答は、町担当者の答弁も具体的になって大変良かったと思えました。町の財政が厳しいことは私だけでなく町民皆さんが心配していると思います。坂下厚生病院の移転



町民にとって身近な議会を目指し、町政の発展に議会全員で取り組んで参ります。

編集後記

また1年が過ぎ、新たな気持ちで新年を迎えることができました。昨年は地震に台風と災害の多い年でした。本年は希望あふれる年となるよう心より願うばかりです。今定例会におきましては、各使用料や利用料が大きく見直されました。一般質問においても、多数の議員が財政について質問するなど、町の財政政策が大きく注目されております。

「なせば成る なさねば成らぬ何事も 成らぬは人のなさぬなりけり」誰もが知るこの言葉を残した上杉鷹山は困窮した藩財政を再建した名君でした。いまこそ先人の知恵から学ぶときなのかもしれません。

この議会の任期も残すところ2か月となりました。議員一同、最後までしっかりと責務を全うしてまいります。（副委員長 赤城大地）

みなさんの声

議会傍聴に参加して

五香 唐司 繁光

五香いきいきクラブは、楽しむ「学ぶ」役に立つ「を会員の大きな活動目標にしています。議会傍聴は「学ぶ」事の一環として毎年実施しています。

今回の議会定例会の質問を興味深く大変期待しながら議場に入りました。

後跡地の事、少なくなっている企業の跡地をどうしたら誘致できるかなどやる事は山積みです。町担当職員、議員の最大の仕事は、町民に不安や心配を与えない事です。積極的に前向きに頑張つて欲しいと思います。

そのためにも議会傍聴を積極的に宣伝して多くの町民が議会傍聴を行い、住み良い坂下町になるように、白熱した議論で協議・討論される議会運営を願っています。

■前号（195号）の記事に左記の誤りがあり、お詫びして訂正いたします。

●訂正箇所

P3の「主な質疑」の箇所（系校里の湯の指定管理用料に対する答え）

（正）指定管理が終了する
令和4年4月から
（誤）指定管理が終了する
令和3年4月から

議会報編集特別委員会

- 委員長 猪俣 恒雄
- 副委員長 赤城 大地
- 委員 横山 智代
- 委員 三橋 薫
- 委員 五十嵐 正康
- 委員 酒井 育子

